

第10回ガイド実践入門「日光研修」終了報告
2017年8月23日(水)実施 本部運営委員会

8月23日(水)午後0時半、日光東照宮五重塔前に集合し、「日光研修」を実施致しました。参加者は総勢24名(会員限定21名、運営委員3名)、講師は矢木野さか恵副会長と宮本靖子本部運営委員でした。参加者は、男性9名、女性12名で、語学別では英語の



他、フランス語、スペイン語の方も参加されました。又、最近資格を取得された方の他、中堅の方々も参加され、更に愛知や熊本からも参加されました。前半は宮本講師が日光の歴史や日光ツアーでの注意点等を説明し、その後英語によるモデルガイドングで三神庫と綺麗に修繕された神厩舎の三猿を説明。特に三猿の8枚のパネルを詳しく解説しました。そして御水舎、輪蔵、鐘楼及び鼓楼をガイドし、前半が終了しました。次いで講師の矢木野副会長による陽明門の詳しい解説に皆さん聞き入りました。改修の終わった陽明門は神々しく光り輝いており、一層その素晴らしさを実感できました。更に矢木野講師の詳しい説明に更なる興味と理解が深まりました。特に霊獣である龍、唐獅子、

息、麒麟や猿等を見分けることで何気なく見ているのは異なり、一層興味が湧いてきました。その後神輿舎とその天井に描かれた日本一の美人の天女を見学。そして唐門の精緻な彫刻の説明を聞いた後、眠り猫とその裏にある平和裏に遊ぶ雀の彫刻を見学。そして拝殿に入り、家康の虎、秀忠の兎、そして家光の龍の彫刻を確認しながら拝殿及び石の間を通り、猿の彫刻が並ぶ本殿を見学。又、拝殿の出口には種々の解説本が販売されており、皆さん選んでおられました。その後は30分間自由時間となり、皆さんそれぞれ陽明門を詳しく見たり、奥社を見学したりしました。その後、上新道を通り、二荒山神社を見学。通常は世界遺産バスで大猷院前から乗れるのですが、平日にも拘わらず夏休みの関係で混雑している為、総合会館前まで歩き、更にバスが来ないので神橋まで歩きました。そこでは宮本講師による神橋の説明と食事場所の説明がありました。その後、参加者の皆さんは東武日光駅とJR日光とに乗車の電車が分かれる為、神橋で解散となりました。このガイド実践入門研修は大半がリピーター参加者で、多くの参加者から実践的な内容でかつ詳しく、大変参考になったとのコメントを頂きました。

